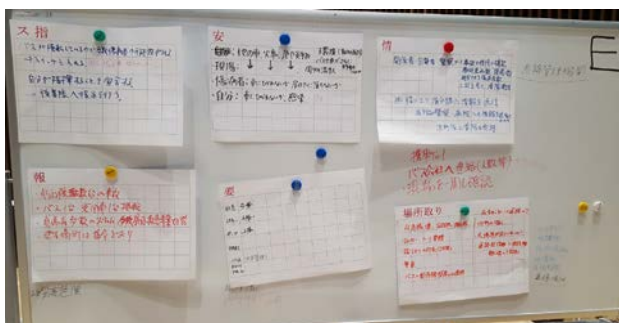


第 12 回宮城 MCLS 標準コースに参加しました (2017/5/13)

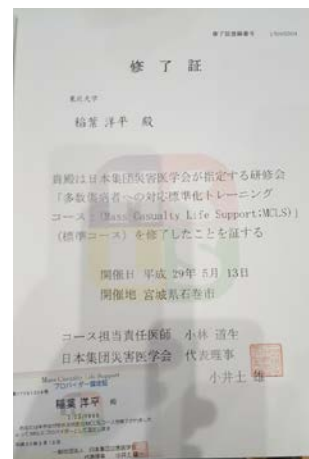
テーマ：多数傷病者への対応標準化トレーニング、Mass Casualty Life Support (MCLS)
 会場：石巻赤十字病院 災害医療研修センター

2017年5月13日 石巻赤十字病院災害医療研修センターにおいて、第12回宮城 MCLS (Mass Casualty Life Support：多数傷病者への医療対応) 標準コースが開催され、当研究所の稲葉洋平 助教（災害医学研究部門 災害放射線医学分野）が参加しました。MCLS 標準コース（日本集団災害医学会主催）は、多数傷病者発生事故時にファーストリスポンダーとして対応を行う消防・警察・医療従事者を対象にしています。多数傷病者発生時の対応・概念・言語を適切化・標準化し、災害現場で実施すべき医療について理解を深め、防ぎ得た災害死を回避するトレーニングプログラムです。

当日は、医師、看護師、診療放射線技師、救急救命士、消防隊、自衛隊など 36 名が参加していました。プログラムは、講義として多数傷病者対応、災害現場医療対応や DMAT について学び、実践として災害現場におけるトリアージ、トリアージタグの扱い、災害現場マネジメント、救護所運営などでした。指導者も 33 名と充実しており、頭と体力を使うより実践的なコース内容でした。最後には、筆記試験・口頭試問・実技試験を受け、合格して修了しました（プロバイター認定）。今後は、インストラクターコースも受講し、インストラクターとして知識と実践の向上を図りたいと思います。



机上シミュレーションの様子



コース修了証

文責：稲葉洋平（災害医学研究部門）